

アフガニスタン 探検記 1975-76

たかおか とおる
高岡 徹 著
(富山県富山市在住)

A5判 並製本
総 280 ページ
定価 :2,000 円+税

<目次>

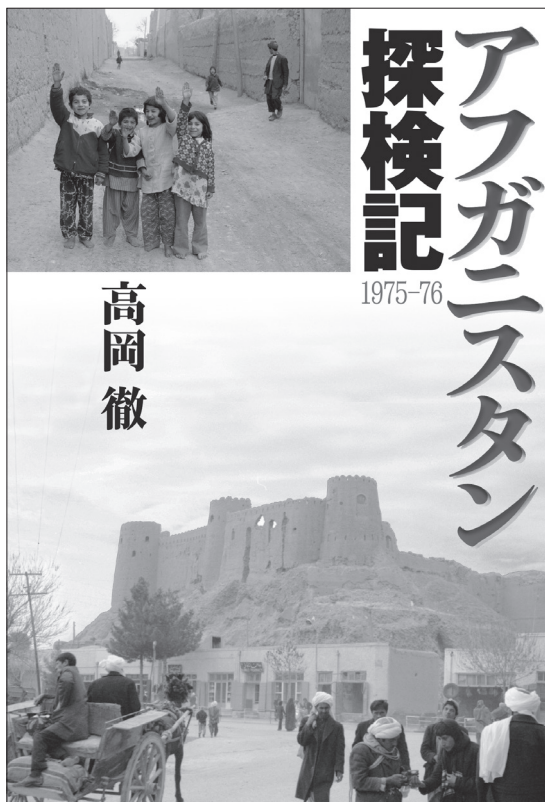
プロローグ

- 一 日本出発まで
- 二 インドの夜
- 三 ムスタファホテル
- 四 パーミアンへの道
- 五 吹雪の谷からの脱出
- 六 泣いて笑ったカンダハル
- 七 ツヨタを買いにクウェートへ
- 八 古都ヘラートの日々
- 九 最悪のバス旅行—
カブルは遠かった!
- 十 シルクロード流れ者たちの宿
エピローグ

【主な著書】

- 『遙かなる国境の町—ユーラシア青春放浪記—』(私家版、1973年)
 - 『越中戦国紀行』(北日本新聞社、1988年)
 - 『戦国期越中の攻防—「境目の国」の国人と上杉・織田—』(岩田書院、2016年)
- 【著者プロフィール】

1950年 富山県富山市生まれ、1973年 立命館大学産業社会学部卒業、1973年～2011年 富山県庁勤務
 国史跡高岡城跡整備基本計画策定委員会委員、富山市民大学講師、越中史壇会・北陸史学会会員、とやま歴史的環境づくり研究会代表



11月上旬発売

ジャーナリストでも学者でもない、
青年が見た
素顔のアフガニスタンとは—

一九七五年末、富山の青年がアフガニスタンを訪れた。パーミアンの仏教遺跡やシルクロードの面影を残した隊商の姿を目の当たりにし、近代化に突き進む国の人びとや世界から訪れる若者たちと出会う。ソ連侵攻前のアフガニスタンを縦横無尽に駆け抜ける体当たり旅行記。

取扱：地方・小出版流通センター

注 文 書	番線印	<h2>アフガニスタン探検記 1975-76</h2> <p>高岡 徹 著</p> <p>本体 2,000 円 + 税 ISBN978-4-88325-626-6 C0095</p>	冊
-------------	-----	---	---